

桜台ニュース

令和2年度 第2号
発行日：令和2年5月
編集/発行者：桜台自治会 広報部

令和2年5月度 常務役員会報告 (5月10日(日)開催)

回 覧

【開催時間】9：30～11：30 【場所】2階大ホール
【出席者】会長、副会長、地区長、(9名)

5月度の常務役員会は、新型コロナウイルスの感染防止活動が進む中、今後の活動計画を中心に議論を進めた。とくに夏祭りや夏休み中のラジオ体操など、実施か中止かの期限が迫った事項が話し合われた。また、現在計画されている自治会館の整備(補修、改修)に関するプロジェクトチームの立ち上げや、第40期定期総会の議決権行使または委任状と一緒に受領した会員からの要望書について議論が行われた。以下にその内容について報告する。

1. 会長報告

- (1) 有秋地区連合会は4月26日に役員会を開催した。新型コロナウイルス感染防止のために、会場は十分な Social Distance をとるために、有秋公園の芝生の上で行われた。
- (2) 桜台自治会会長(星野会長)は、この度有秋地区連合会の副会長、地区社会福祉協議会の理事、有秋公民館指定管理者運営委員、成人式実行委員、市原市町会長連合会の評議委員(環境対策部会)に就任。
- (3) 有秋盆踊りについては新型コロナウイルスの感染予防のための準備作業が困難、又寄付金集めが商店の営業自粛等により困難が予想されるなどから今年度は中止と決定した。

2. 今後の活動計画について

- (1) 令和2年度年間予定について
4, 5, 6月度の計画は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止か当面見合わせになっていましたが、有秋中学校支援金募集については学校後援会から協力要請がありました。
- (2) 自治会館の整備(補修、改修)のプロジェクトチームの立ち上げについて
 - ① 議論に先立ち、桐田副会長から、改修工事の必要性について動議が提案された。提案は桐田副会長が実施した自治会館建屋の目視検査に基づく検査報告(写真付き)の結果に基づき、緊急を要する改修工事の必要性はなく、あえて早急に対応すべきところは、新館の2階を支える6本の支柱の根巻き部のモルタルにひび割れが見られ雨水の侵入の可能性があり、冬までに補修を実施した方がいいというものであった。(添付した「桜台自治会館改修計画についての提案」を参照の事。
 - ② とくに、異論はなかったが、この報告書をもとに専門家の意見をいただき最終結論を出すこととした。
 - ③ 改修工事項目決定についてはその必要性について現物の状態を検査し、徹底的に調査のうえ決定しなければならない。無駄な工事はやってはいけない。現状復旧以外の補修は投資案件として扱い、最終的には定期総会で承認を練る必要がある。定期的に検査し工事項目化して中長期的な補修計画をする担当が決まっておらず、会則でも決められていない。会則の変更が必要である。
* 結果としてプロジェクトチームの立ち上げは見送られた。
- (3) 桜台の夏祭り実施の可否について
新型コロナウイルスの感染予防のための、準備作業が困難であることから中止に決定した。
- (4) 夏休み中のラジオ体操について
夏休みがどうなるか現在分かっておらず、開催時における感染予防(参加前の体温測定、3密防止対策)が確実に行うことが難しいため中止とした。

(5) 定期総会前の会員からの要望書の対応

- ① 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い混乱が生じている中、自治会新年度組織が発足して新年度予算案が定期総会で議決されるということですが、このような事態に於いては、自治会機能停止を回避すべく運営に支障をきたさない予算は確保すべきであることから、予算は暫定予算扱いとして、来るコロナ禍終息時に臨時総会開催のうえ議決すべきと考える。

(対応) 来るコロナ禍終息時に臨時総会を開催し予算を審議する。

② 改修工事について

地震災害頻発国にあつては昨今の地震・暴風雨禍多発に対処が優先。行政助成金対象の耐震・省エネを視点に案を仕切り直し、支出は慎重にすべきである。

(対応) 改修工事については、内容を精査したうえで次のステップに向けて行動する。

- ③ 定期総会を開かないで予算案を議決するには、前年度との差異についての説明が不足しているため、納得いかないところがある。理解しようにも無理がある。これについては説明をしてもらいたい。

(対応) 来るコロナ禍終息時に臨時総会を開催し疑義なところは説明することとした。それまでに個人的に懇切丁寧に説明を行う。

- ④ 新型コロナウイルス感染時に公園清掃をするのは公園愛護活動協力金をもらっているからか。強制的に実施を要求されるのは納得できない。

(対応) 公園清掃は市原市においては役所からまだ何ら指示が出ていない時期であり、中止の必要はないと判断した。協力金をもらっているからといって公園清掃は強制ではない。いろいろな都合で参加出来ない人もいる。市の公園愛護活動では犯罪に強い街づくりに一環として公園清掃を通して住民のコミュニケーション向上を図ることが記されている。このような時期における公園愛護活動については今後配慮する。

- ⑤ 行事に多大な費用をかけている。全体の 24.8%になっており削減する必要がある。行事が多いため、会員の負担になっている。以後、高齢化社会にむけて自治会活動が継続できるか、検討を要す。自治会館前のクリスマスツリー工事に新たに電気工事 50,000 円が計上されているが、本当に必要か。各種イベントが本当に必要かアンケート調査が必要である。

(対応) 確かに、自治会のイベントは自治会発足以来、大きな見直しをしたことはない。このままイベントを続けることが出来るのかは重大な関心事であるにもかかわらず、議題に上ったことはない。会員の高齢化に伴い今後の自治会活動はどうあるべきか検討しなければならない時期に来ている。そこで、イベントの有り方だけでなく自治会活動の進め方全般について会員の意見をいただくアンケートを行いたい。アンケート結果を踏まえて、必要に応じて検討のためのプロジェクトチームの立ち上げなど考えたい。アンケートに対する協力をお願いしたい。

3. 星野会長挨拶

新型コロナウイルスという脅威に対して、世界中が一丸となって戦っているなかで、自治会運営史上初めて「定期総会」縮小による開催となりました。令和元年度から2年度の「理事及び班長」さんへの引継ぎもままならぬ状態で、見切り発車となりました。いつ終息するのか先が読めない状況で、日々ニュースを見ながら頭を痛めているところです。

2年度の活動も、騒動の影響で「3密」回避の要請もあり、おもな行事の開催を断念することになりました。会員の皆様には楽しみにされていた行事が中止となりますが、このような状況をお汲み取りのうえ、ご理解をお願いします。

近隣の町会・自治会及び有秋地区連合会の諸行事も、夏休みまでの予定を中止しているところですし、可愛い子供達も学校に行けず、外出も制限される中での生活を余儀なくされている状況を早く脱して、従前の生活に戻れるようにわたくしたち大人も一致団結して頑張りましょう。